

令和4年度 学校評価アンケート（保護者対象）から見た今後の方向性

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
自由記述の内容も含め、今後の取組の方向性を示します。

- 1 授業での取り組みについて、肯定的な回答が7割を超えています。しかし、授業で行っているグループ学習が十分に生かされていないと感じる方も増えています。コロナ禍が続く中ですが、これまでの経験や、スーパーバイザーからの助言等を基に工夫を重ね、全ての生徒の学習活動を保障する「協同の学び」を推進していきます。生徒が関わり合う姿勢、前向きな姿勢が多く見られる授業を展開していきます。
- 2 学校行事について、肯定的な評価をいただきました。
今後も生徒の心に響く活動の実現に向けて、取り組んでいきます。また、時期や内容の見直しは不断に続けてまいります。
- 3 学級活動について、心通い合う、温かみのある学級であるという評価を多くいただきました。今後も、「共感的人間関係」を育成しながら、生徒の心に寄り添える学級運営に努めてまいります。
- 4 学校が家庭や地域との連携を深めようとしていないとの意見を頂きました。コロナ禍で下火になっていた地域のボランティア活動や、職場体験が本年度から少しずつ回復してきています。次年度以降もコロナ前の活動に戻っていくよう、取り組んでいきます。
- 5 コロナ禍による学校生活に関わる情報につきましては、今後もプリント、メール、ホームページでお伝えしていきます。
- 6 教師として人権意識を高くもち、生徒との真のふれあいを大切にしながら「自己存在感」を感じさせられる教育活動をすすめてまいります。

学校評価アンケートの結果を真摯に受け止め、本校の教育に役立てます。